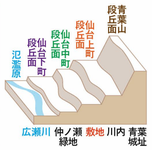
地形と連続した立体広場

0. 広瀬川が織りなす地形と一体となった新たなシンボル　評価視点②

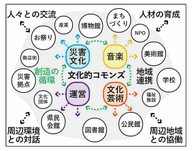
広瀬川の河岸段丘と仙台の歴史

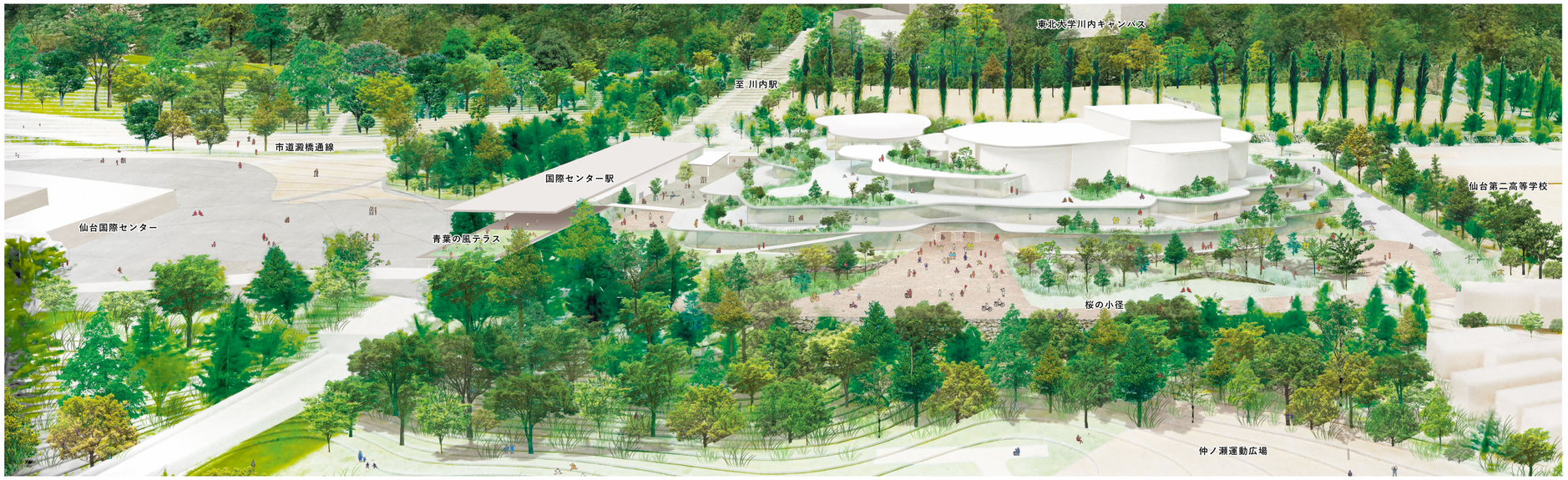
敷地は奥羽山脈から続く自然と仙台市中心部からくる都心的機能が融合する接点にあります。広瀬川は大きく蛇行し河岸段丘をつくり、広瀬川の切り立つ崖と、曲がりくねった川に囲まれる緑豊かな青葉山の地形を活かした城郭、そこから発展した城下町がこの場所の構成の骨格となっています。この景観と連続していく緑豊かな立体広場としての文化拠点の在り方を提案します。



創造の循環をつくる拠点

多様な専門性が共存しながら、外に開かれることで、人々や周辺環境との対話や交流を活性化する文化的コモンズの拠点となることを目指します。

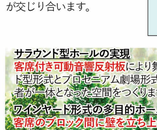




1. 河岸段丘のように有機的な平場を重ねた段丘状断面　評価視点①

舞台レベルを地上に

通常 35m 程になるフライタワーを 30m 以内に抑え（※断面図参照）舞台、楽屋、搬入を地上レベルとします。

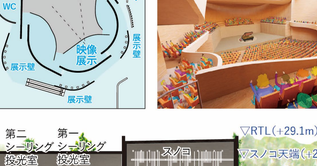


高さを抑え表裏を無くす

周辺部の高さを抑え、フライタワーの圧迫感を軽減します。楽屋を地上にすることで、周囲に対し裏をつくらず内部の活動が外部に現れます。

ワインヤード席が展開したような段丘テラス

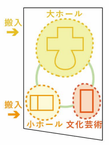
外にも内にも段丘状の床をつくることで、外部では広場が立体的に展開し、内部では吹き抜けを介して、施設内の様々な活動を一同に感じることができます。



2. 文化活動の「しま」と、その間を流れる災害文化の「かわ」— 内外で交じりあう活動　評価視点③

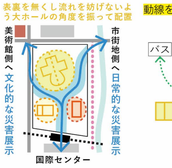
文化活動の「しま」

中心を囲むように島状に配置することで明快なゾーニングとします。



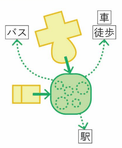
災害文化の「かわ」

日常的な動線に沿って災害展示が展開され、各島の活動と交じり合います。



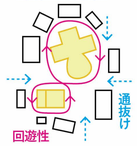
溜りとなる中心の広場

各ホール前の広い滞留空間になるとともに日常的には中心広場となり、公演時には帰宅動線を分散できます。



区分け自由な回廊

回廊形式を基本骨格とすることで施設の回遊性と通抜けの自由度を確保し裏と表の区分けを流動的にします。



放射状に開く諸室

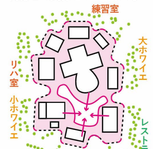
回廊に沿って放射状に諸室を配置することで外部の広場と連携するとともに内外に活動がにじみ出します。

専門家との交流のリング

「専門家」の活動拠点が表に現れ、日常的に人材育成や人々の対話が育まれます。

音の輪と多彩な屋根下

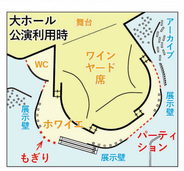
2階は「しま」を繋ぐ「音の輪」となり、直線と１種類の曲率のカーブの有機的なスラブで外部との関係をつくります。

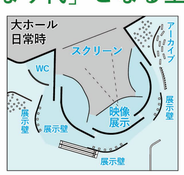


3. 芸術文化と災害文化の「重なり代」となる空間　評価視点③

ホールの壁をほどく

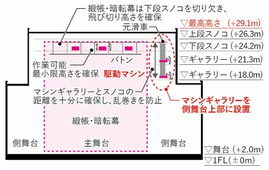
ワインヤード席が外にまで広がっていくように、閉じたホールの壁をほどき、空間が重なり代をもちながら広がっていきます。そうすることによって、芸術文化と災害文化が交じり合います。

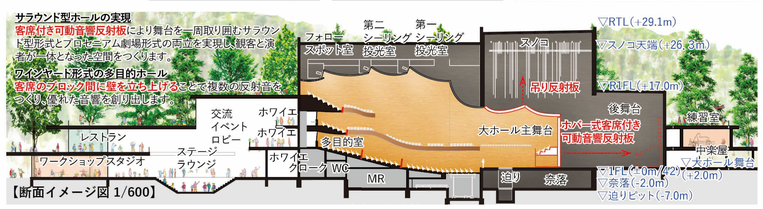




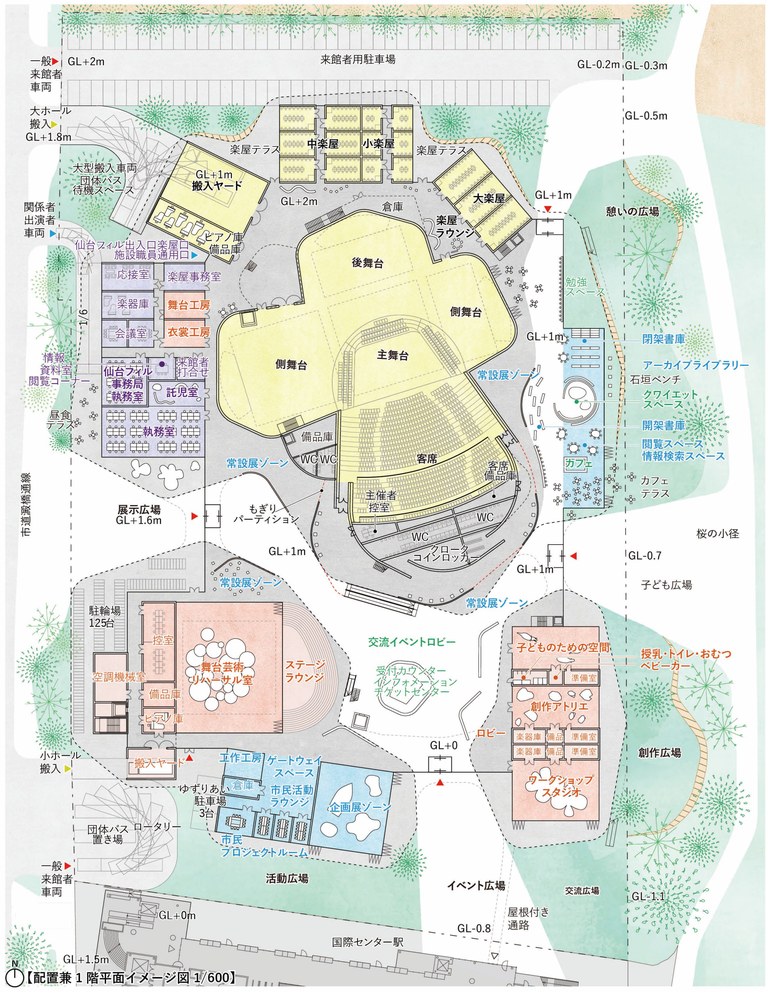
高さ 30m 以下に抑えるフライタワー

・マシンギャラリーを側舞台上部とし、スノコ上の高さを最小限に抑えます。
・マシンギャラリーとスノコの距離を十分に保ち、巻取ドラムから元滑車のフリート角度をとり乱巻きを防止します。
・スノコは作業の最小限高さに抑えフライズは吊物が見切れない高さとします。
・舞台前部の暗転幕等は点検作業ができることを前提に下段スノコを切り欠き、飛び切り高さを確保します。





4. 水が流れるように人の流れが生まれ、裏表なくどこまでも一体となってつながっていく　評価視点④

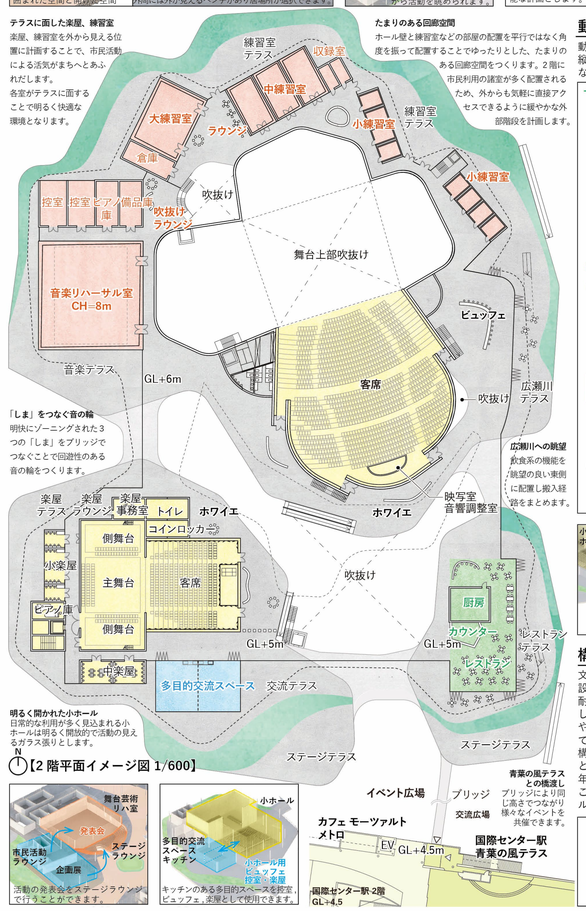


テラスに面した楽屋、練習室

楽屋、練習室を外から見える位置に計画することで、市民活動による活気がまちへとあふれだします。
各室がテラスに面することで明るく快適な環境となります。

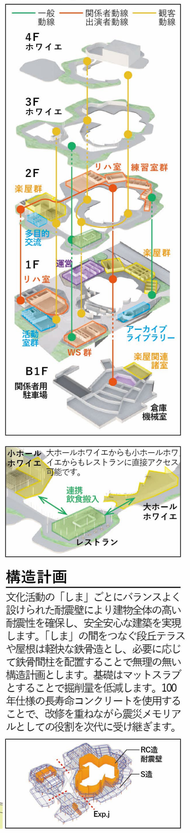
たまりのある回廊空間

ホール壁と練習室などの部屋の配置を平行ではなく角度を振って配置することでゆったりとした、たまりのある回廊空間をつくります。２階に市民利用の諸室が多く配置されるため、外からも気軽に直接アクセスできるように緩やかな外部段を計画します。



動線計画

動線の交錯が起きないよう機能的に縦動線でまとめ、「しま」ごとに明快なゾーニングとします。

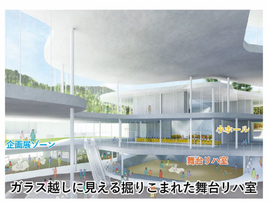


構造計画

文化活動の「しま」ごとにバランスよく設けられた耐震壁により建物全体の高い耐震性を確保し、安全安心な建築を実現します。「しま」の間をつなぐ段丘テラスや屋根は軽快な鉄骨造とし、必要に応じて鉄骨間柱を配置することで無理の無い構造計画とします。基礎はマットスラブとすることで掘削量を低減します。100 年仕様の長寿命コンクリートを使用することで、改修を重ねながら震災メモリアルとしての役割を次代に受け継ぎます。

仙台七夕花火祭では特等席となる段丘テラス

二重ガラス壁で映像展示などが外から見える小ホール



ガラス越しに見える掘りこまれた舞台リハ室

駅２階の青葉の風テラスと囲み屋外劇場のようになるイベント広場

イベント広場はワークショップや企画展と一体利用が可能

川側の２階にはレストラン・ビュッフェ、１階にはカフェ

楽屋や練習室でも様々な大きさのテラスが利用可能